

まちづくり懇話会の意見について対応状況を市長から回報

昨年11月20日、宇佐東ふれあい館で北馬城校区の皆様と行政が語り合う場として開催されました「まちづくり懇話会」における当日の皆様の意見・要望に対する宇佐市の対応状況を取りまとめ回報があったので、その概要を次の通りお知らせします。

当日は校区の皆様54名が出席、行政から市長始め部長等9名が出席しました。

意見① 豊後高田市ではケーブルテレビの放送しており好評です。宇佐市も検討してください。

回答 ケーブルテレビはかなりの初期投資、ランニングコストがかかります。宇佐市は光回線を整備した状況ですのでご理解いただきたい。

意見② 駅館川水系には三つの漁場があります。駅館川の一体化を進めるには将来、漁協を一本化した方がいいのではないかと。要望です。

回答 将来にわたっての提案という事で承ります。

意見③ エコカー減税についてです。軽自動車でも13年経つと7200円が12600円になります。宇佐市単独で助成できないか検討をお願いします。

回答 古い車に減税すると地方交付税などに跳ね返り交付税が減ってくるルールがあります。支援策を講じてほしいというのは、政策的に効果を見出しにくいのが率直なところです。

意見④ 市会議員の数が多とか議員の報酬が多い等の意見があるが、議員は何人いてもいいのではないかと思う。しかし、今の議員で全く質問しない人、レベルの低い人がいる。議員は勉強、能力、関心をもって議会を活性化するように持って行ってほしいと思います。

回答 議会と執行、二元代表制でやっていますが、貴重な意見をいただいたと思います。

意見⑤ 古い家を買って、改修した後に定住促進の補助金があることを知った。補助金の対象にしてもらえないか。

回答 「宇佐市空き家改修補助金」の事と思います。事業完了後の申請は補助金交付の適正化の観点から困難であります。

平成29年度第3回映写会を3月4日に開催

平成29年度第3回映写会を下記の通り開催致します。多くの方のご来場をお待ちしています。

1. 日時：平成30年3月4日（日）10：00～

2. 場所：北馬城小学校体育館

3. 題目：家族はつらいよ

※来場無料。さらに来場者には粗品があります。

※詳細は同封チラシを参照してください。

北馬城地区観光マップ近々完成

平成29年度の大きな事業として北馬城地区観光マップの作製を手作りで取り組んでいます。北馬城がもっともっと元気になるには「北馬城をより多くの人に知ってもらい、より多くの人に来てもらうしかない」、そのためには観光マップが不可欠と金を掛けずにアイデアと頑張りで行ってきました。3月末完成を予定しており、春の行楽に向けて宇佐駅に降り立った地域外からの観光客が宇佐神宮に行くにはどれくらいかかるか、宇佐駅周辺の観光スポットは——などを簡単に検索でき、観光客にとっては重宝なものとなります。活用してもらおうこと間違いなしです。

因みに作製メンバーは事務局長、まちづくり協力隊（吉田・麻生さん）、郵便局の榊田さんです。頑張っています。あと一歩です。乞うご期待！。

裏面へ

「第5回北馬城の歴史を学ぶ会」44名熱心に聞く

平成30年2月4日(日)、「第5回北馬城の歴史を学ぶ会」は県立歴史博物館原田昭一課長を迎え、「北馬城の石造物」について講演して頂きました。参加者44名は自分が知っている地名や石造物が出てくると大きく頷き、我が郷土の誇りとご満悦でした。一方、地名も遺跡も出てこない自治区の参加者は先人に不満を漏らしながらも、郷土の歴史を学ぼうと熱心に聞き入っていました。

講演では「大分県は石造物の国・県指定件数が240件で最も多く、次ぐ兵庫県・大阪府の100件と他の県に比べ群を抜いてダントツであることを知れたことは大きな収穫でした。

また各地にある石塔は南北朝～戦国時代のものであるが、雑木・風水害や獣害により風化しており、石塔が一体として揃っていないものが多く、文化財として指定されないで放置されているとの話もあり、残念に思いました。これからは地区にある文化財はできるだけ保持し、後世に残したいものです。



会場風景



会場風景

第1回宇佐市まちづくり交流会が開催された

平成30年2月18日(日)、麻生活活性化センターで宇佐市の全まちづくり協議会が集合して交流会が行われました。現在まちづくり協議会は17協議会があるものの1年目～10年超と差があり、協議会ごとに問題点を抱えているので交流会を通じて各協議会の長短所を活動の参考にしてほしいとの提案から開催されたものです。

第1部は麻生まちづくりからの活動報告がされ、第2部には北馬城から松本事務局長が登壇するパネルディスカッションが行われました。

各協議会の問題点としては

- ①自己資金がない⇒自己資金を作って役員報酬を出せるようにしたい。
- ②後継者不足⇒任期を設けて、役員がマンネリしないようにしたい。
- ③高齢化し、行動力が低下⇒市職員、農協職員、先生、などリタイア人材の活用。

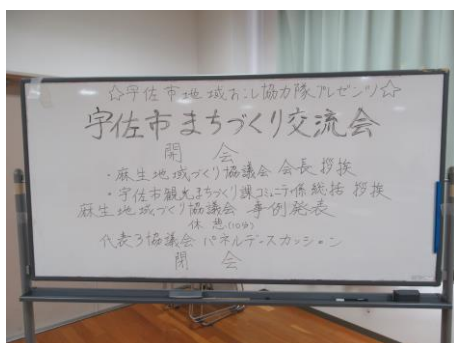
※幼稚園の廃園についてメリットデメリット意見の違う協議会が意見交換しました。

昼食には津房地区食堂のジビエカレー、だんご汁が有償で披露されました。

また、昼食後は陳列された各地の特産物を出席者が買い求めていました。

陳列された特産物は

- 高並谷地区：ナスの辛子漬け、菊芋の漬物、柿の味噌漬け、など
- 津房地：イチョウのまな板、ジビエカレー、だんご汁、など
- 北馬城地区：クロダマル大豆、ヨモギあんこ餅、など



レジメ



発表する麻生まちづくり協議会



パネルディスカッションの松本事務局長

ふるさと納税に協力ありがとうございました

平成29年度12月期までの寄付金額は61万円(32件)となっています。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。昨年度は65万円の寄付金を頂き、栗山USA公園の登山道の修復に活用させて頂くことにしています。地元の発展の足掛かりをつくるために、地元の皆さまから知人・親戚などに声かけをお願いします。

《 お 知 ら せ 》

北馬城地区に「道の駅」建設が決定

平成30年1月17日19:00～第1回説明会がありました。道の駅は国道10号線と豊後高田からくる国道213号線が交わる岩崎交差点の北側にできる予定です。問題なく進んでも完成は数年後だそうです。完成が待ち遠しいですね。活性化して欲しいです。